

# 『小林起一追悼展〜今生物語〜』

## いよいよ開催！



『そば打ちパフォーマンス』2004年

今月21日(土)から約1ヶ月間、『小林起一追悼展〜今生物語〜』を開催します。この展覧会では、昨年亡くなられた市内木島出身の芸術家・小林起一さんの陶芸や絵画、和紙作品など60点余りを展示します。

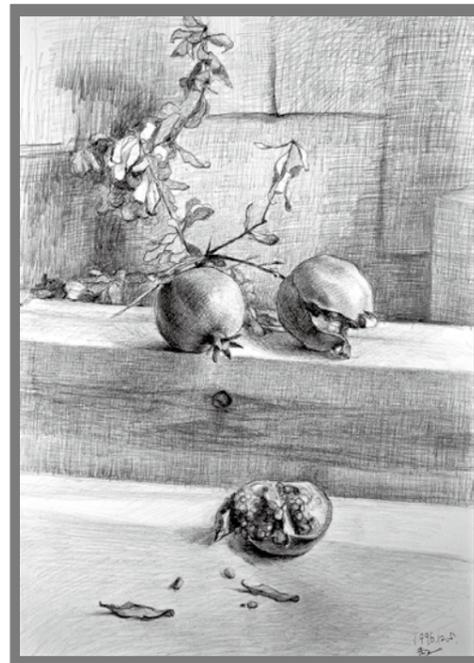
展示作品のなかには、飯山南高校勤務時代に美術の授業で生徒たちに見本を見せるために描いたという静物デッサンや石膏デッサンも含まれています。例えば『ざくろ』は、対象の質感を的確に捉える技術はもちろんですが、おらかな線に作者の手柄を感じることもできます。また、小林さんは生き方そのものを芸術とした活動を展開され、世界的芸術家・松澤宥らとパ

フォーマンス(身体を使った芸術など)を発表されました。2004年には広島市現代美術館において、『そば打ち』のパフォーマンスを披露、そのとき身に付けていたのは63歳から取り組んだ和紙の研究活動で自らが考案した和紙の作業衣で、これまでの集大成といえるものでしたが、その記録写真も紹介しています。陶芸作品を多く発表されてきたことから「陶芸の先生」として知られていますが、是非この展覧会をご覧いただ

### 小林起一追悼展〜今生物語〜

- ・期間：7月21日(土)～8月26日(日)
- ・時間：午前9時～午後5時
- ・会場：飯山市美術館2階 ギャラリー及びロビー
- ・休館日：毎週月曜

皆様どうぞお出かけください。



『ざくろ』1996年

## はた織り機

組み立てられる方を探しております



ふるさと館では、当館で所蔵している「はた織り機」の主に糸を織る部分の組み立て、復元ができる方を探しております。できるだけ早くまで結構ですので、組み立てていただける方がいらっしゃいましたら、飯山市ふるさと館(電話0720330)までご連絡ください。



# 地域活動の原点をみた!

## 飯水公民館役職員研修会開催

地域に密着した地区館・分館・集落館の果たす役割は大変重要であり公民館活動の基礎です。この活動の基礎を学習するため、公民館役職員や専門部員が一堂に会し、地域に果たす役割やその研究を深めることを目的として、飯水公民館役職員研修会が6月16日(土)65名もの参加者を集め開催されました。

本年は、講師に前飯山市飯山公民館長の田中清見氏をお招きし、「わたしの歩んだ地域公民館活動」と題し講演をいただきました。氏が初めて教員として赴任した学校で、保護者を対象とした夜間懇談会を企画し、継続的に開催する中で、様々な人との出会いや、公民館活動の原点となる地域活動へ精力的に取り組んでいったお話のほか、学校の



宿直室へ地元若衆が集まって夜通し酒を飲みながら語り合った事、地区の運動会で怪我をして病院に運ばれたにもかかわらず、慰労会には駆けつけた話など、おもしろおかしくお話いただきましたが、地域に入り込んで活動してきた経験や、その時々への思いや考え方は、そのまま現在の公民館活動の目指す一つの方向を示されたと思います。第2部では、同会場にて懇親会が開催され、講師を交え市内各地域より参加した方々と大いに語り合い、公民館活動の重要な要素である、人と人との交流を深めました。



講師の田中清見氏

### ★マイオピニオン★ 意見・私見

## 「子どもの生きる道」

外様地区専門部員 春日徹矢

私の子どもが産まれてもうすぐ2年になるうとしています。産まれる前は父親になる実感が無く、もしも自分の子どもが可愛くなかったらどうしようと思っていました。でも産まれてきた子どもはとて可愛く、産まれる前に思っていた事は何だっただらうと思っていました。

私の住んでいる地域は、最近男の子ばかりが産まれる不思議な現象は起きています。が、4人の子どもがいる家庭があつたりと、少しは少子化に歯止めをかけているのでは

ないかと思っています。

子どもが欲しくても出来ない夫婦や、私のように子どもが可愛いから怒れない状況の裏で、世の中には自分の子どもを虐待したり、殺してしまつたりと信じられない様な事件がたくさん起きています。

そんな中、最近「赤ちゃんポスト」という物ができました。賛否両論ですが私は反対です。そんな物があると今よりもっと無責任に子どもをつくり、虐待はしなくても簡単に子どもを捨てる事ができ

### ★マイオピニオン★ 意見・私見

## 「公民館事業に参加して」

木島地区専門部員 六川幸彦

4月から木島地区専門部員をやらせていただいている六川です。今回専門部員として初めて公民館事業に参加させていただきました。5月に実施した「木島ふるさとかるためぐり」では、木島地区の名所を巡りながら子ども達と一緒に歩きました。自分の知らない名所や、普段何気なく目にしてる場所の言い伝えなどの詳しい説明を聞いて、子

ども達と一緒に感心感動したのを思い出します。また、6月の「レディースソフトバレーボール大会」では、事前準備から審判等やらせてもらいましたが、不慣れな面もあり大変でした。しかし、大勢の方に参加していただき、大変白熱した試合となり、参加者の楽しそうな姿を見て大変ではありましたが、参加できて良かったと思いま

す。専門部員となる前は、いろいろな行事に参加しても安全に楽しくできることが当然のように思っていました。自分が専門部員となった今、そうやる事の難しさを感じています。

今後は多くの方に安全で楽しんでもらえるように精一杯頑張ります。